

誤飲防止のためのカップの開発

【相手先企業】

大津晃窯，向山窯，小林製陶，やまさき陶苑

【目的】

高齢者の事故の中で，食事中に食べ物を気管に詰まらせる事故が増えています。これは，加齢にともなう気管機能の衰えによる摂食・嚥下障害によることも一因と言われています。そこで，飲み物をスムーズに飲み込める飲用食器の開発を行いました。

【内容】

カップ部を浅めの漏斗形状にし，内側の傾斜角度をゆるやかにすることで，顎を上げることなくスムーズに飲み干すことが出来ます。高台を高くすることで握りやすい長さを確保し，持ちやすさを配慮するための太さにバリエーションを持たせました。

構造は，カップ部とグリップ部のふたつを一体化させたデザインにしています。

【成果】

使用する方々の個性に対応したオーダーシステムを展開しています。



写真1 開発したカップ各種



写真2 誤飲防止カップ

基礎となった事業：オンリーワン技術創出創総合支援事業

笠間焼商品開発研究会

担当部署：窯業指導所 工芸技術部